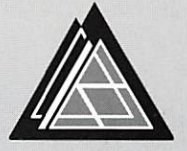


学 園 通 信



No. 230

九里学園高等学校 P T A

2007. 3. 1 発行

卒業おめでとう



卒業特集

三年間の歩みは

光あふれる未来へ

羽ばたく力になる

真の幸福とは

学園長 九里 茂 三

次に述べるのは、今や世界に拡がる外食産業「ワタミ」のオーナー渡邊美樹氏の著書からの引用である。

「幸せについて考えます。最近の若者はなっていないなどと年寄りじみた事を言うつもりはありません。昔も最近の若者も似たようなものだったと思います。たゞ、今と昔の違いは豊かさだと思えます・・・私が理事長を務めさせていたゞいているNPO法人で建てた学校でWFP（国際連合世界食糧計画）の協力を得て給食をはじめました。三日に一食しか食べられない子どもも居るカンボジアの田舎の貧しい村です。早朝から給食が待ち切れずに、食器を持って子どもたちが集まります。朝七時、豆入りごはんが炊き上がりました。おかずは魚の缶詰のスープです。「いただきます。」元氣よく給食が始まりました。その中で一人だけ食べようとしない子が居ました。ビニール袋に自分の給食を入れていきます。給食が終わろうとした時、何事も無いように囲りの友達が自分の分を三分の一ほど残し、その子のビニール袋に給食を分けました。聞くと、その子は家に食事をしていない小さな弟や妹がいて、自分の給食を持って帰るのだそうです。その子は給食が終ると、一生懸命走って学校を後にしました。私は思います。「本当の豊かさって何だろう。本当の幸せって何だろう。」カンボジアの子供たちは教えてくれました。モノは奪い合えば足りず、分け合えば足りるのです。自分だけの幸せなんてないんだ。幸せは、人のそれと重ねたものなんだと教わりました。・・・」

以上は、彼の著書「きみはなぜ働くか。」からの引用です。思えば戦中・戦後の日本にも同じような事があった事を思い出しました。学校での昼食の時間に、いつも友達同士でどこかへ行ってしまう何人かが居て、残

っている者たちに聞くと、数人で自分の弁当を出し合って食べさせているのだと聞いて、胸を打たれたことがあります。

彼らの好意には、少しの不自然さもなかったのです。そしてその生徒たちは嬉々として遊んでいました。いじめなど考えようのない明るさが、そこにはあつたように思います。

私は、かつてロータリークラブが呼んだアメリカからの交換学生の、故国へ帰る直前に書いていったという次の言葉を思い出します。「日本は豊か過ぎて、何かやつてもらっても、感謝の気持ちがなく、当り前と思つているし、目上の人に対する尊敬とか、いたわりの心に欠けていると思います。：子どもが少ないので手をかけすぎるのではないのでしょうか：」と、日本の高校生や親達を批判しているのです。更に「：長くテレビばかり見ていると、人間関係も損なわれ、友情も育たないのでは：」というのです。

辛かった戦時中・敗戦、そしてみんなで努力して掴んだ筈の豊かさや平和が、これ程までに実現できたという今、却つて言いしれぬ不安と向き合うことになるうとは、如何にも口惜しく、人間の愚かさを思い知る昨今です。

「幸福とは、お互いが努力してつくる秩序である」とは、私が少年の頃に読んだ、ロマン・ロランの書の一節です。幸福は、お互いがお互いをしあわせにしようとする「相互の努力」によつて招来されるものだとしみじみ思います。安易や飽食などからは決して生れようのない「本当のしあわせ」を求めて、どうぞ強く、たくましく生きていって下さい。それこそ九里学園の「礼」と「讓」を自らのスローガンとして。

レベルの高い国民に

学校長 九里 廣 志

関西テレビが制作する『あるある大事典』のねつ造事件が、多くの人々を驚かせました。特に視聴率の高い長寿番組であり、この番組で、ある品物が身体に良いとなると、店頭からその商品があつと言う間になくなるという程の影響もあつた番組でしたから、反響も大きかつたので、同様のねつ造の事実が以前からあつたことが次々と明らかにされ、番組が姿を消したことは皆さんもご存じのことでしょう。テレビは、NHKも含めて「視聴率」が勝負です。視聴率を上げなければスポンサーが付きませんから、今回のようにウソをついてゴマカしても興味を引く番組に仕上げることが常態となるのです。これを私たち一般人は、ほとんど検証する手だても無いまま受け止めざるを得ませんから、このねつ造の罪は大きいですね。

3 私たちの生活にテレビが入ってきたのは、映画『三丁目の夕日』の背

景となつた昭和三十年代からです。特に皇太子（現天皇）のご成婚の昭和三十四（一九五九）年と、昭和三十九（一九六四）年の東京オリンピックは、一般家庭へのテレビ普及を促し、翌年の統計によると、都市部で九五%、農村部でも八九・二%に達したというから、驚くべき普及の勢いでした。それまでの映画鑑賞の影響で、当初は部屋を暗くしたり、静かにして皆で鑑賞したものでした。しかし、このようにして急激に進んだテレビ文化に対して批判の声も上がり、評論家の大宅壮一氏は低俗な番組や、読み書き能力などを必要としないテレビを評して「一億総白痴化」と呼んだことは有名です。力道山が活躍するプロレスを、八百長と疑いながらも熱狂したのは、テレビが感情や情緒にアピールするメディアであることを物語っています。

最近のテレビを見ていてこんな事に気づきます。一つは「番組の多くが、お笑い系タレントたちによつて牛耳られていること」です。次から次へとお笑いタレントが登場し、真面目に考えなければならぬということもオチヨクツてお笑いにしてしまう傾向があります。どうでも良いようなことばかり見せられるので、ウンザリしてチャンネルを変えても、どこも同様の状態で閉口します。でも、きつと多くの人は、大口を開いて笑いながら、その番組に付き合っているのでしょうね。次は、何でこんなと同じことを、何もここまでというくらい繰り返すのかと言うことです。殺人などの犯罪も、その手口などまでごまごまと解説を加えて繰り返し報道するのですから、その事件の被害者の関係者などは、どれだけ心を痛めているのだろうと可哀相になるほどです。一方、

マスコミで報道されなければ、何も無かつたと思ひ込みます。また、マスコミが人々の行動や結果を操作していることも気になることです。選挙の報道が一番顕著ですが、流行などはほとんどテレビによつて作られるといつても過言ではないでしょう。ねつ造報道が示すように、報道されたことには、その報道の評価を信じて疑わない傾向が私たちにはあるから問題ですね。最近と同様の現象がコンピュータによつても見られるようになりました。特にコンピュータは、相互の交流が可能であるゆえに、匿名性があるため、テレビ以上に多くの問題を抱え込んでいます。しかし、今回のこの事件は、私たちに「検証が難しいということではあつても、常に冷静に判断する姿勢」を要求したといえましよう。マスコミにただ振り回されるのではなく、さまざまな情報を自らがチェックしてゆく努力を怠るなという警告です。つまり『賢さ』を持つたレベルの高い国民になることが私たちには要求されているのです。努力してみてください。

卒業おめでとう

～限りない未来の空へ向かって～

門出を祝して

第三学年主任 町田 悦子



三年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

「光陰矢の如し」

というように、今振り返ってみればあつという間の三年間でした。

入学した頃のみなさんはどこか頼り無げであつたけれども、今はすっかり逞しく、自分の良さを自覚できるようになつたように思います。これからは、そういう自分をもっと豊かにしていくために、努力を怠ることなく歩んでほしいと願っています。

「卒業記念講演会」で改めて人間の崇高さと醜さを知りました。みなさんがこれから巣立つ社会は、私の高校卒業時とは比べものにならないほど厳しい状況にあります。一人ひとりが願うささやかな幸せを守り、維持していくために、常に国際社会の状況に関心を持ち、地球人として正しい判断を持って生活してください。

私達は決して全てにおいて満点ではありませんが、いざというときに底知れない勇気と力を持っていることを信じています。それは、個人的には、家庭を築き父として母として子育てをする時や、仕事に対して大いに発揮されるでしょう。平凡で穏やかな日常をいつも願ひ、一生懸命頑張っているみなさんの姿を想像します。

さあ、新しい世界への出発です。

決して諦めないで



本田 米子

卒業おめでとう！どのような三年間を過ごしたのでしょうか。一所懸命に取り組めた事、熱中出来た事はありませんか。高校三年間の様々な体験は自己の成長の為に貴重な時間であつたと思います。自分を奮める事が出来る三年間であつたなら、充実した高校生活だつたと思います。これからは、今まで以上に充実した日々を送り、常に今出来る事を一所懸命やる事で、自分をもっと、もっと大きくしていって下さい。

今まで大勢の人達に支えられて来た事に感謝の心を持ち、これからは支えてあげる人になって下さい。くじけそうになつても決して諦めないで頑張ってください。「ローマは一日にして成らず」という諺のとおり、一步一步の積み重

ねがあつてこそ、大きな力となり成功へと導いてくれると信じます。目標達成するまで何事も我慢が大切です。

「礼と讓…まだまだ続くぞ！」



遠藤 健

九里学園入学からおよそ千日。ついにこの時が・・・

一日も早くこの日を迎えたかった人、このまま永遠に九里学園にいたい！と思う人も中にはいるのではないでしょう。いずれにせよ、みなさんは一旦九里学園を巣立ち、次のステージへ向かうこととなります。

今後の世界では九里学園で培ったことを生かしてください、生かさなくてはもったいない。皆が学んだことは「礼と讓」の精神です。これからの場でも、この精神を忘れずに！

最後に九里学園での可愛い…くない後輩の私から皆に宿題です。「礼と讓に続く言葉」…これを考えてみてください。

私はこの漢字を選びます。健先生だから「健」…と推測した人…あまい！最初はその言葉を選びましたが、私は「和」を選びます。(遠藤から見ても)

一期生のみなさん

ご卒業おめでとうございます。

1組

でっかく生きろ！
俺の夢たちよ！

担任 高橋 元樹



楽しいこと嬉しいこと
悲しいこと苦しいこと
いろいろあるけれど、何が

あってもおかまいなしに地球は回り、時は流れていきます。人生八十年〓二万九千二百日〓七十万八千時間。その一瞬一瞬と人との出会いを大切に、有意義で幸せな人生を送って欲しいと願っています。そのため、七対三の割合で自分より相手を大切に、相手の立場に立つて考え話をよく聴いて視野を広げることが大切です。どうか社会に貢献してってください。



高校生活での経験

稲毛 亮介



卒業にあたって、この高校生活をふり返ってみると、様々なことを経験

できた三年間だった。中学の友達と離れ、新しい友達がたくさんできて、一緒に勉強して遊んで、ケンカして、理解し合った。そんな友達とまた離れなければならない。卒業を目前にした今、たった三年間しか共に過ごしていないのに、とても辛い。だけど、社会に出るためには通らなくてはならないこと。それが高校生活最後の、大事な経験になると思う。

多くの人への感謝

山田 和史



「世界に一つだけの花」一人一人違うたねを持つ♪その花を咲かせることだけに

一生懸命にならばいい」このフレーズを一度は耳にしたことがあると思います。生徒一人一人に一生懸命花を咲かせるためにご指導下さった先生のお陰で、多くの事を学ぶことができました。これから自分自身の目標を達成し、満開にできるよう頑張っていきたいと思えます。先生方、保護者の方々色々なご指導、多くのサポート本当に三年間ありがとうございました。

2組

感謝の気持ちを忘れずに

担任 小林 圭一



九里学園の三年間で、どんなことを身につけましたか。他の友達と和す

ることができましたか。自分の人格を大切にしましたか。十分青春しましたか。いまままで自分を育ててくれた保護者や周りの人達に感謝することを忘れずに、これからは自立への道を力強く歩んで下さい。そして、愛する世の人々の為に努力して下さい。

今、卒業する君達へ贈る言葉。

Worry less work more. (よくよせずに、思いきつてやれ！)

「卒業にあたって」

伊藤 圭祐



時間の経過というものは本当に早いもので、もう卒業の時期を迎える。私は、

九里に入学することができて本当に良かった。楽しいことはばかりではなく、壁にぶちあたった時もあったが、両親や多くの先生方、友達に支えられ自分の可能性を広げることができた。本当に感謝している。九里での生活は、私にとって誇りであり、人生の糧となると確信している。

卒業後は、九里で培った力を自信に変え、堂々と胸を張って生きていきたい。

「卒業にあたって」

遠藤 啓史



高校生として三年間を過ごし、九里学園で様々な事を学んできたと思えます。「礼」と「謙」という言葉は、一番聞き慣れた言葉です。それを忘れず、自分達の新しい人生を歩んで行きたいと思えます。自分は、就職という道に進むわけですが、九里で学んだことを土台にして、新しい人生の第一歩を歩みたいと考えています。また、九里学園の先輩として、後輩のために社会で頑張っていきたいと思えます。



3組

精一杯

担任 鈴木 精



卒業おめでとう。そしてありがとうございます。この一年間いつも心の中では共に

様々なことに向かって戦ってきた。そんな中、部活動や進路へ向かう君たちの情熱やひたむきな努力に、エネルギーをもらってきた。君たちの担任であったことを誇りに思う。最後に君たちに言葉を贈るならやはりいつも言っている「精一杯」しかないだろう。自分に負けず向上心を持って、精一杯努力しろ。そして真に強く優しい人として他者を支えよう。プライドを持って生きていけ。

九里での三年間

東海林 充



九里での三年間は、長いようで短く、あっという間の日々でした。

私は、学園生活や部活動を通して、生きていく上で大切な事を多く学びました。辛い時は仲間と励まし合い、嬉しい時は喜びを分かち合い、その一瞬一瞬が私にとって最高の瞬間でした。この三年間私が頑張られたのは先生方や友達が私を支えてくれたからだだと思います。三年間で出会った大切な人

や仲間のために、進学先でも勉強を頑張りたいと思います。ありがとうございます。

学んだこと

原 雄司



私は三年間野球部に在籍していました。最後の大会では納得できない結果が残せなかったものの、結果以上にこれまで九里野球部員として活動してきたことにとても満足しています。そこで学んだことを、これからの生活に活かし、大学でも頑張っていきたいと思っています。

ご指導下さった左和明監督、保土沢コーチ、ありがとうございます。



4組

かけがえのないみんなに感謝

担任 柴田 誠



卒業おめでとうございます。いよいよこの時がやってきましたね。これまで

まで本当にいろいろありました。共に笑い合った日、意見を言い合った日、感動し合った日など、今でも鮮明に覚えています。みんなと共に歩んできたこの三年間は、私にとってかけがえのないものです。みんなからは多くものをもらいました。みんながいてくれたから今の私があります。本当にありがとうございます。心から感謝しています。これからもずっとみんなのことを忘れません。サンキュー！

かけがえのない日々

川崎 綾奈



九里での三年間の生活は私にとってとても大切な時間だった。部活動や、学校行事、日々の生活の中で得た「今」しか味わえないどんな感情も、無駄にはならないと言える。

学校生活で楽しさや喜びを友人と共有し合えるのは一瞬だけれど、その一瞬は一生の思い出となる。その思い出があれば、これから辛い事があっても乗り越えていけると思う。

今まで私を支えてくれた全ての人にありがとう。

思い出いっぱい三年間

須貝 裕



ドキドキワクワクの気持ちで九里の制服に腕を通し、入学した三年前。

あの時から駆け抜けてきたこの三年間は、私にとってとても大事な宝物となった。一年・二年・三年と、それぞれの一年間が思い出がいっぱいだった日々だった。先生や友達ともめたり、辛い事もたくさんあったけど、その分楽しい事や学んだ事もたくさんあった。

本当に思い出だらけの三年間。この九里でつくる事が出来た本当に良かった。九里も先生もみんなありがとう☆



5組

本気こそ偉大なパワー

担任 吉田貴美子



卒業おめでとうござい
ます。口うるさい担任で
生徒達も大変だったこと

でしょう。我クラスは力はないが努力でカバーするクラスでした。九里祭の模擬店、体育祭の応援など時間をかけて地道に努力する生徒達でした。日に日に成長している姿は嬉しく沢山の思い出ができました。私はみんなの「本気な姿」が大好きです。特に受験に向かう姿が一番輝いていました。本気な力は偉大です。自分が決めた道を本物にできるように本気あるのみ！

卒業する今、思うこと

小川 桂子



私は、九里の陸上部に憧
れて入学した。陸上部では、
自分に勝つことが勝つ為には

必要だと学んだ。これは、どんな事にも当てはま
ると思う。これをこれからの人生で大切にしたい。

私が三年間、陸上一筋にやっていたのは、
顧問の先生、陸上部の仲間、両親のおかげだ。九
里の先生、学級の仲間にも、とてもお世話になっ
た。多くの人の支えがあつて高校三年間は一瞬の
出来事となつたのだ。今思う、九里で良かった。

九里大好き!!

草刈 綾華



私はこの学園生活で多
くのことを好きになりま
した。

吹奏楽部に所属し、音楽、トランペット、
部員みんなが好きになりました。クラス活
動にも参加し、クラスみんなが好きになり
ました。他にも、勉強はもちろん、多くのこ
とを教えてくれ、様々な面でサポートしてく
れた先生方のことも好きになりました。
三年間好きな人たちに囲まれて生活するこ
とができて幸せでした。そんな大好きなみな
さん、ありがとうございます。



6組

三の六のみなさんへ

担任 宮下 説子



卒業おめでとう。そして、
ありがとう。私は三の六の
みんなからたくさんさんの元気

と感動と優しさをもらいました。進路で忙しく休
みのない日々が続きましたが、みんなの頑張つて
いる姿に励まされて、私も乗り切ることができま
した。三の六のみんなに、ご家族の方に、そして
九里の先生方に感謝の気持ちでいっぱいです。
私もみんなと一緒に九里を卒業します。みんな
からの「おめでとう」を胸に、新しい人生の一步を踏
み出します。

三十九名揃って卒業

鈴木絵理香



卒業を迎え私達は今、新
たな道へ向かい歩み出す。
進路決定までの道程は、辛

く険しかった。そんな時でも誰一人諦めず、努力
を重ね目標を達成することができた。

共に励まし支え合ってきた三十八名の仲間達
三の六の母、宮下先生。私達は三十九名、揃って
九里学園を卒業する。宮下先生にとつての最後の
生徒である三の六。そして、私達にとつての最高
の先生である宮下先生。私達三十八名は、先生と
出会えて本当に良かったよ。本当にありがとう。

六組大好き。

山口 優希



六組と過ごした日々
は、とても短く感じます。
その短い一年間に、たく

さんの思い出ができました。体育祭の応援の
ダンスは、休み中でも全員が集まり、みんな
で一つの事を最後までやりとげました。それ
は今までにない喜びと感動であり、最高のク
ラスだと思いました。

これから先は、自分の決めた道に一人一人
進むわけですが、またいつか大人になったみ
んなと、宮下先生に必ず会いたいと思います。
六組大好き、みんなありがとう。



7組 「いい人生を自らの力で」

担任 熊澤 広二



七組の皆さん、ご卒業おめでとうございませう。

いっぱい思い出と一緒に九里を巣立られる皆さんに一言三言。

一つ「高校時代の仲間是一生の友。ずっと大切に。」二つ「感謝の気持ち」をいつも忘れずに。最後に「人生はこれからが本番。」今までの嫌なことは全部忘れ、失敗は教訓にし、いい思い出や自信は常に持ち続け、新しい道を自らの足で確実に歩んでください。七組のめんごたちに幸あれ。



高校三年間を振り返って

川原 奈緒



私は、九里学園に入ってからたくさんの経験をしました。部活は、ソフトボール

部に入部し、何事にも最後まで諦めずに、全力を尽くす事、そして、仲間と協力しあう大切さなど、他にもたくさん事を学ぶことが出来ました。

クラスでは、学園祭で一つの物をクラス全員で作ることが出来て良かったです。一、二、三年の時、学園祭となるとクラス全員で協力し、最後には達成感を味わう事ができ、本当に良い経験をしました。

卒業！

佐藤 愛



私はこの高校三年間、礼と譲の精神の下、部活や勉強を仲間と一緒に頑張ってきました。その中で仲間を敬う気持ちの大切さ、共に競い合い、自分達の力を高め合うことなどを学びました。

そして、これから私は慣れ親しんだ土地を離れ、新しい土地へ行くので、この九里学園で学んだ事を活かし、自分自身を磨き上げていきたいと思います。先生方や両親、友人が私を支えてくれたように、私も人を支えられる人になりたいと思います。



先輩へ 後輩へ 贈ることば

後輩へ

元生徒会長 近野 太郎



後もう少しで私の
高校生活は終わります。
この三年間は、

短いようで長いものでした。部活と生徒会の仕事に追われる中でも、張り合いのある生活はとても楽しいものでした。

しかし、後悔があるのも事実です。もっとできたはず、もっとやれたはずという事がたくさんあります。できる事なら入学式に戻りたい。

だからこそ、まだこれから先のある一・二年生の皆さんには、後悔のない生活を送ってもらいたいと思います。今、何か辛いことがあるかもしれませんが、それも一つの成長の糧となります。迷っている時は、積極的にチャレンジして行って下さい。失敗を恐れない気持ちを持つことが大切です。

最後に、皆誰かに支えられて生きています。支えてくれている人への感謝を忘れず、また自分も誰かを支える力を持つ。それが大切なことだと思えます。貴重な高校生活を有意義なものにしていくて下さい。

お世話になりました

一年三組 川原 岳斗



三年生の皆さん、
ご卒業おめでとうござ
います。特に野球

部の先輩方には、野球を通して部活から日常生活までお世話になりました。これからも、夢や目標を持って九里の先輩として頑張ってください。

十八回目の春に

一年七組 近野 彩香



いつの日か訪れる、
卒業という一つの始
まりの日を夢見て入

学した春からの三年間の日々を胸に、大きな一歩を踏み出してください。卒業生の皆様、御卒業誠におめでとうござります。

輝き続けて

一年八組 樋口 徹也



入学。僕達の手を
引いてくれた。部活、
励まし、背中で大切

な何かを語ってくれた。そして卒業。コートの上で流した汗や涙を自信にして、これからも輝き続けて下さい。胸を張って行ってらっしゃい。

三年生へ

二年二組 四釜 繁之



三年生のみなさん
ご卒業おめでとうござ
います。これから

自分の選択した将来に向けてがんばって下さい。九里で学んだことを力にしてこれからもがんばってください。

先輩へ絶対大丈夫だよ。

二年六組 永井 菜理



私の好きな言葉を
贈ります。
道に転がる石につ

まづいたら、またおきあがればよい。起きあがれないなら、その場で少し休んでみよう。また立ち上がれる力が湧いてくるから。だってあなたは一人じゃないから。だから大丈夫。

強さ

二年八組 志摩 瞳



どんなに辛い時
も諦めない先輩方の
根性。それは三年生

である先輩方の陸上に対する熱意だったのだと思う。そして何より自分という弱さと闘っていた先輩方の心の強さを、私は尊敬している。

めぐり

三年一組保護者 徳重 則子

卒業おめでとう。振り返ってみればあつという間の三年間でしたが、実に色々な事がありました。今の君達があるのは決して君達一人の力でここまでこれたのではありません。温かく見守り、時には厳しく御指導して下さいました先生方がいたからです。励ましてくれた友人がいたからです。いつの時にも感謝する気持ちを忘れないで下さい。これからたくさんの人に出会い、色々な経験をしたいと思います。この九里学園で培った事を生かし自分の可能性を拡げて下さい。

最後になりましたが、校長先生をはじめ諸先生には、親の力の及ばないところを熱心に御指導していただき、本当にありがとうございます。心から御礼申し上げます。



社会で活躍できる人

三年二組保護者 伊藤 利春

卒業おめでとう。三年間の学園生活も、あつという間、だつたと感じている人も少なくないと思います。君達のそれぞれの進路も決まつて熱い想いでいる事でしょう。社会では皆さんを待っています。これから、その社会に順応していかねばなりません。そのため学生生活も含めてきち

んとした社会人としての基礎力を身につけていく必要があります。それには、自らを高め物事を乗り越えていく「行動力」、チームで仕事をできる「人間関係力」、目標達成に向けて必死に考える「思考力」、この三つの力が重要です。

人間として、社会人として、自分の成長を信じ、進んでもらいたい。期待しています。

頑張れ

十八年間ありがとう

三年三組保護者 鈴木 昭一

早いもので息子が九里学園に入学して、あつという間の三年でした。最近この十八年間は、私が息子を育てたのではなく、私は息子に育てられたのではなからうかと、つくづく考えてしまいます。たしかに、学校のこと友達のこと、いろんなこと心配しましたが、それも、子を持つ親の特権であり、いない人は心配したり喜んだりすることはできないのです。そのことに関してもありますが、ことです。私がそんな風に考えるようになったのは、どうも、息子の高校受験のおり、私も勉強する機会を

得て、英語や数学で話ができるようになったからです。将来、皆さんが社会人になった時には、広い視野にたつて誰とでも会話ができる人になつてもらいたいです。



子供達に感謝

三年四組保護者 安部 徳一

学校生活ありがとう。思い起こせば三年前九里学園にお世話になる時に迷いました。県立か私立かと考え



ていた所、ある先生にぜひと言われた九里学園に入学をさせ、あつと言間の三年間がすぎようとしていきます。子供は勉強に部活動にと頑張る卒業をしようとしています。これも学校長、回りの先生方のご指導のもとと又回りの子供達のお陰と感謝しています。そして部活動の応援で色々な所にいった事や、学園祭の色々な事が思い出されてなりません。子供達皆さんありがとうございます。これからは進学や就職とそれぞれ旅立つわけですが、頑張ってください。

夢に向かつて

三年五組保護者 高橋 好美

卒業生の皆さん、保護者の皆様、卒業おめでとうございます。長い間で、あつ、という間の三年間。思い起こせば、期待と不安の入り混じった気持ちで、この九里学園の門をくぐりました。この学園生活という真っ白く大きなキャンパスに、思い思いの夢と希望を載せ、君達はどんな絵が描けましたか？鮮明でやさしい色の絵が描け、個性を発揮できた学園生活だったことでしょう！これからは、九里を巣立ち、新たな旅立ちの始まりです。社会というキャンパ



スに変わっても、九里学園で学んだ事を十分に發揮し、自分の個性を見失う事無く、いろいろな色を重ね合わせ、その絵、夢、を完成させて下さい。そして、その絵を飾る『場所』を見つけて下さい。

前向きな気持ちが大切

三年六組保護者 片平 茂夫

卒業おめでとうございます。素晴らしい学園生活を送ったことと思います。これからは社会人としてさまざまな道を選択されたわけですが、社会に出てみると学園生活が懐かしく素晴らしい時間であったと感じるはず。温かく包んでくれた担任の宮下説子先生に感謝しなければなりません。みんな部活に学業によく頑張ったと誇りに思っています。

社会に出るにあたっては、不安はあるでしょうが日々努力すれば、願いは叶うはず。社会は、目にもえないものが大切です。何事にも前向きな気持ちが重要です。やもすると、若いから形のあるものに惑わされますが、惑わされず早く社会人として実務知識や応対マナーを身につけ、社会に貢献できるように邁進して欲しいと思います。



七転八起

三年七組保護者 佐藤 仁

義務教育を終えて九里学園へ入学し、悩みや不安を抱えた時期もあったと思いますが、充実した三年間を過ごした事でしょう。

困難な事にも一緒に向き合いアドバイスを下さったり、見守って下さった教職員の方々、そして何でも話せ信頼できる仲間にも巡り合った幸せな三年間だったと思います。

この春進学や就職して社会に旅立ちますが、この先壁にぶつかる事もあるし、つまづく事もあるでしょうが、前を向き強い信念を持ち、乗り切ってくれると信じています。

七転八起の精神でいつまでも羽ばたけるよう祈っています。

本田米子監督に感謝して

インターハイ出場を祝う会

感謝

陸上部保護者代表 佐藤義郎

一月二十八日、インターハイ三十年連続出場を祝う会を催しました。本田米子監督、本田恒一コーチの陸上一筋三十七年の実績を称え、OG、諸先輩方が大勢出席し、思ひ出話に花が咲きました。陸上競技を通して、人間性を磨き、成長する事を第一に実践して来た監督の教えが、実を結んだ結果だと思えます。今後更なる連続出場を願います。三年間九里陸上部に在籍出来た事を、親子共に誇りに思いません。本当にありがとうございました。



陸上部のお父様お母様へ

福岡大学経済学部四年 山内 愛

インターハイ三十年連続出場誠におめでとうございます。私は平成十四年度に陸上部の主将を務めました。陸上部のお父様お母様の御指導がなかったら、今の私はいなかったと思います。一つの目標を達成するためには練習が大事、けれども何かを我慢することも必要だと教えていただきました。この言葉、今でも宝です。

兄から弟・妹達へ

山形大学地域教育文化学部一年

鈴木 豊

九里学園陸上部インターハイ三十年おめでとうございます。先生方が、「陸上部員は家族だ。」とおっしゃっていた日々が懐かしく感じられます。部員のみならず、陸上の楽しさを感じながら、本気を忘れずがんばってください。先生方、大変な事も多いと思いますが、弟妹達をよろしくお願います。陸上部のさらなる活躍を期待しています。

◆各支部活動◆

米沢第七支部

親子ボーリング大会と食事会
楽しい時間を子供と共に

支部長 平林 富美子

第七支部の生徒は六十名います。

今年も昨年同様ボーリングと食事会を十二月に行いました。当日はノロウイルスが流行していた事もあり五十名弱の出席でしたが、生徒達や保護者達と一緒に笑ったり話したりと楽しい時間を過ごす事が出来ました。家族と過ごすのとは違い、支部で一緒に行動すると言う事はとても意味のある事だと思えます。支部の親がみんなで子供達を育てるには親同士が仲良くする。それが親子行事の意味のひとつだと感じた時間でした。

南原支部

願いを込めて

支部長 高山 芳一

南原支部は、地元で野球部のグラウンドがあるという事で、支部活動の一つとして数年前より野球部の保護者と合同で草刈り等の整備を行い、この地よ

飛翔

九里陸上

連続30年

超えろ記録!超えろ先輩!超えろ伝統!
咲け蒲公英の花 九里学園陸上競技部父母会

昨年、三十周年インターハイ出場おめでとうございます。私は三十一年目のインターハイへは行けませんでしたが、東北総体を終えてから、先生やコーチのご指導のおかげで強くなる事ができたと思います。三十一一年目は全員で出場し、そしてこれからつないでいきたいので、今後ともご指導よろしくお願ひします。

インターハイ連続出場を祝して
陸上部男子部長二年
黒澤 悠

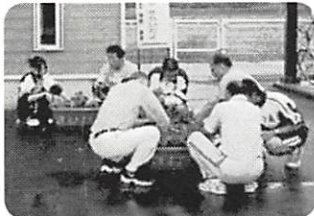


この度は、三十年連続インターハイ出場おめでとうございます。三十年という素晴らしい歴史を生み出した先生方にご指導して頂いている事をとても誇りに思います。先生方のお陰で競技力、人間性が成長出来ました。今年は県総合優勝をし、多くの人が三十一一年目のインターハイに出場できるよう頑張りたいと思います。

伝統への新たな一歩
陸上部女子部長二年 伊藤 綾音



も深く出され、深い議論が出来ました。懇談会では日本国憲法からマタギの話まで、楽しい会話が溢れていました。



会・懇談会です。列車通学固有の意見も多く出され、深い議論が出来ました。懇談会では日本国憲法からマタギの話まで、楽しい会話が溢れていました。

小国・飯豊支部

支部長 舟山 吉幸

り甲子園の出場を夢みる選手達のがびの練習出来る様、願いを込めて実施しております。又、校長先生をお招きして、「校長先生を囲む会」を行い、地元のそばを食しながら子供達の様子をお聞きしております。今後とも支部活動にご協力お願いします。

広大な面積ですが、生徒数は三十名と小さな支部です。今年度の活動としては、六月と十一月に、米坂線沿線の駅舎清掃と支部所有プランターに花を植える作業を実施しました。部活動で朝一番の列車に乗り込む生徒も、早めに駅に到着し、作業をしてくれました。(本当に真面目な生徒が多い。)夜は校長先生を初め、担当の先生方を交え総会・懇談会です。列車通学固有の意見

平成十八年度 三学年褒章受賞者

() 内の数字はクラス名

学習活動優秀賞

窪田 直人 (1)	齋藤 拓也 (1)
佐藤 将史 (1)	相馬 克志 (1)
伊藤 圭祐 (2)	飯澤 雄輝 (3)
五十嵐大樹 (3)	鈴木 光 (3)
須藤 隆 (3)	羽賀 靖幸 (3)
廣居 康博 (3)	阿部 桃子 (4)
遠藤沙弥香 (4)	折笠 恵美 (4)
川崎 綾奈 (4)	鈴木 綾蘭 (4)
平間あゆみ (4)	松浦 舞 (4)
小川 桂子 (5)	加藤 愛子 (5)
花等 静 (5)	狩野さとみ (5)
後藤 奈菜 (5)	島貫亜沙美 (5)
濱田奈緒美 (5)	細谷 麻理 (5)
小島 由紀 (6)	小関裕美子 (6)
近野 聖菜 (6)	志賀美穂子 (6)
鈴木絵理香 (6)	高橋由里子 (6)
松本 幸恵 (6)	浅野 翔子 (7)
江袋 ゆみ (7)	木村 愛美 (7)
坂野 唯 (7)	佐藤 愛 (7)
佐藤 公美 (7)	中川 み貴 (7)
中根小百合 (7)	二宮 理美 (7)
山岸 弥々 (7)	

特別教育活動 功労賞

陸上競技部

齋藤 克也 (3)	酒井 清法 (3)
佐藤幸太郎 (3)	佐藤 貴展 (3)

特別教育活動 団体賞

陸上競技部

特別教育活動 優秀賞

女子バスケットボール部

安部 育恵 (4)	佐藤 明美 (4)
中川 有里 (5)	齋藤 美里 (5)
井上 智美 (5)	山口 優希 (6)
片平 理恵 (6)	佐藤 公美 (7)
草野明日香 (7)	佐藤 友佳 (7)
ソフトボール部	
島貫加奈子 (4)	川原 奈緒 (7)
バドミントン部	
山口有香里 (4)	田中 琴美 (6)
須藤真理子 (7)	安部 恵里 (7)
陸上競技部	
伊藤 慎吾 (2)	小島 智良 (2)
高野 司 (3)	三島木大介 (3)
川井 沙智 (4)	小川 桂子 (5)
狩野さとみ (5)	田那部真由実 (7)

男子テニス部

高崎将太郎 (1)	梅村真一郎 (2)
渡部 文彬 (2)	

女子テニス部

鈴木 絢蘭 (4)	木村 朱里 (5)
島貫亜沙美 (5)	小島 由紀 (6)
中根小百合 (7)	

男子卓球部

遠藤 拓 (2)	金子 哲士 (2)
渡部 貴明 (3)	齋藤 創 (3)
東海林 充 (3)	

女子卓球部

平賀 恵 (5)	渡部 夕希 (6)
佐藤 愛 (7)	

吹奏楽部

稲毛 亮介 (1)	神野 恭平 (1)
堀越 大地 (1)	村上 一 (3)

書道部

矢野 藍子 (4)	加藤 愛子 (5)
梅津 春菜 (6)	大木 彩加 (7)

生徒会

鈴木 奈々 (6)	
近野 太郎 (3)	廣居 康博 (3)
平間あゆみ (4)	遠藤沙弥香 (4)
高橋ゆかり (4)	松浦 舞 (4)

特別教育活動〈努力賞〉

- 安部 史恵(4) 折笠 恵美(4)
- 稲毛 亮介(1)
- ◆九里祭 実行委員長
鈴木絵理香(6)
- ◆体育祭 実行委員長
伊藤 圭祐(2)
- ◆保健厚生委員会
大木 彩加(7)
- ◆図書委員会
坂野 唯(7) 神野 恭平(1)
- ◆男子バスケットボール部
窪田 直人(1) 相馬 克志(1)
- ◆バレーボール部
遠藤沙弥香(4) 須貝 裕(4)
- 松浦あゆみ(5) 上地 彩夏(6)
- 鈴木絵理香(6) 土田 千尋(6)
- ◆ハンドボール部
濱田奈緒美(5) 遠藤 和奈(6)
- 二宮 理美(7)
- ◆ソフトボール部
佐藤未沙子(4) 菅 絵里香(5)
- 細谷 麻理(5) 大峽 彩香(5)
- 青葉 美雪(6)
- ◆男子テニス部
情野 輝晃(3) 我妻 亮(3)
- ◆女子卓球部
松木 菜奈(7)
- ◆バドミントン部
佐藤 将史(1) 矢野 翔平(1)
- 高梨 和幸(2) 羽賀 靖幸(3)
- 横澤 大樹(3)

- ◆剣道部
横山 守(1) 遠藤 優(3)
- 赤木 里江(4) 後藤 奈菜(5)
- 石井 幸恵(6)
- ◆弓道部
川崎 綾奈(4) 今野南奈子(4)
- 山崎こずえ(4) 安部 史恵(4)
- 折笠 恵美(4) 高橋ゆかり(4)
- 佐藤 麻美(5) 椎野みどり(5)
- 近野 聖菜(6) 齋藤あすか(6)
- 松本 幸恵(6)
- ◆サッカー部
横澤 和也(1) 山田 和史(1)
- 伊藤 圭祐(2) 梅津 和希(2)
- 廣居 康博(3) 五十嵐大樹(3)
- 加藤 洋介(3) 鈴木 光(3)
- 須藤 隆(3) 会田 李紗(5)
- ◆野球部
浅見翔一郎(1) 齋藤 拓也(1)
- 新藤 大輔(2) 倉田 和希(3)
- 近野 太郎(3) 原 雄司(3)
- ◆演劇部
砂川 尚人(1) 佐藤 静香(7)
- 山岸 弥々(7)
- ◆吹奏楽部
加藤 美樹(5) 淀野 綾(6)
- 川崎 和実(7)
- ◆音楽部
穴澤佳央理(4)
- ◆書道部
須崎 勇也(1)

読書感想文優秀賞

- ◆美術部
鈴木 碧(4) 情野 育美(4)
- 吉田真由美(4) 安部 美里(5)
- 遠藤 杏子(5) 金倉 明香(5)
- ◆茶道部
阿部恵里香(4) 小関裕美子(6)
- 加地 幸子(7)
- ◆JRC部
鈴木 由佳(5) 原 朋代(5)
- 浅野 翔子(7)
- ◆文芸部
庄司 智恵(4) 志賀美穂子(6)
- 馬下 智美(7)
- ◆新聞部
島貫 由梨(7) 御供 奈々(7)
- ◆ジャズダンス部
河野 円佳(6) 我妻沙弥香(6)
- ◆ストリングアンサンブル部
府野 花子(7)
- ◆イラスト・アニメ愛好会
高橋 美紀(6)
- ◆コンピュータ愛好会
飯澤 雄輝(3) 古河 康伸(3)
- ◆図書委員会
菊池 亮多(2)
- ◆読書感想文優秀賞
佐藤 将史(1) 菊池 亮多(2)
- 佐藤 貴展(3) 山口有香里(4)
- 齋藤 美里(5)

平成十八年度 進路状況について

進路指導課長 大木 善子

今年度は、就職希望者が昨年度と比べ二倍近い一〇七名と多かったです。その活動は厳しいものとなりました。景気回復基調の中で求人数は増加したものの、県内では製造業が大きく増えただけで他の業種はほとんど変化がなく、特に女子生徒の希望職種である事務・販売・サービスの求人が極端に少ない状況でした。それに比べ県外は、十月中旬までの早い時期に内定を頂き好評でした。これは夏休みもなく入社試験の準備に頑張った生徒の努力と保護者の皆様のご支援があったからと感謝しております。

また、進学では男子・女子生徒共に四大希望者の数が増加傾向にあります。最近よく「大学全入時代」という言葉を耳にしますが、本校でも指定校推薦枠の総数が、大学進学希望者数を上回る枠数を頂いており、改めて「大学全入時代」の到来かという感じがします。しかし、生徒達の希望は指定校枠をあまり使わず、特に県外の場合はこれまで先輩方が進学している実績のある大学を選択する傾向が強い様です。又センター試験や一般入試で受験する生徒

◆H18年度卒業生の進路別状況◆

平成19年2月22日現在

	就職希望者			進学希望者				家事その他	合計
	県内	県外	小計	大学	短大	専修各種	小計		
男子	23	17	40	25	2	25	52	2	94
女子	28	40	68	19	23	36	78	11	157
合計	51	57	108	44	25	61	130	13	251

◆就職関係（内定状況）◆

	県内希望				県外希望				合計			
	学校斡旋	縁故	学校斡旋 内定者	縁故 内定者	学校斡旋	縁故	学校斡旋 内定者	縁故 内定者	学校斡旋	縁故	学校斡旋 内定者	縁故 内定者
男子	15	8	15	7	17	0	17	0	32	8	32	7
女子	24	4	24	4	40	0	40	0	64	4	64	4
合計	39	12	39	11	57	0	57	0	96	12	96	11
内定率%	98%				100%				99%			

◆進学関係（合格状況）◆

	大学		短大		専修各種		合計	
	希望者数	合格者数	希望者数	合格者数	希望者数	合格者数	希望者数	合格者数
男子	25	23	2	2	25	25	52	50
女子	19	18	23	22	36	35	78	75
合計	44	41	25	24	61	60	130	125
合格率%	93%		96%		98%		96%	

が多くなってきている点が目立つところ。志望学部については、教育・福祉系が多いのは昨年同様、次いで経済学部や工学部・保健・医療系の学部志望者が多かったのが特徴です。専修学校に関しては、資格を取得して就職につなげようとする分野への希望者が毎年多いのですが、価値観の多様化からか今年は生徒の希望が様々な分野にわたっています。人気があった

のは、介護福祉学科・調理科・商業実務系の学科、そして看護・医療系の学科でした。特に看護医療系は人気が高く、難易度も高いので、下級学年からのためまぬ積み重ねが必要。就職・進学いずれの場合も、早い時期にしっかりとキャリアプランニング（自分の生き方を考える事）をし、明確な目標を持って準備を始めることが大切です。

編集後記

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんにとっての高校生活三年間はどの様な時間だったのでしょうか。

笑ったり泣いたり、楽しい思い出や辛い試練、全てがごちゃ混ぜになりながらも皆さんの足元を強くしてくれました。

進む道は様々ですが、自分の「根っこ」を大事にして世の中の新しい栄養を吸収し、時には風雨に耐え、益々しっかりとした根を張って生きてくれる事を期待します。

そして成長を支えて下さった保護者の皆様、先生方、友達、全ての方々に心から感謝申し上げます。

ありがとうございました。

(高崎)

